

コーチング科学学位プログラム（博士前期課程）										
養成する人材像	国際的な幅広い視野と柔軟な思考を兼ね備し、科学的根拠に基づいたコーチング学研究を推進するとともに、コーチ育成論を含むコーチング学研究の新たな分野を開拓できる能力を兼ね備えたスポーツの素養のある知的人材(財)を養成する。									
教育研究の特徴	<p>スポーツがより高度な専門性を有することとなった昨今において、科学的なコーチングの重要性が求められています。コーチング科学学位プログラムでは、トップアスリートを指導するコーチを対象としたアクションリサーチによってトップアスリートコーチの特徴を明らかにすること、競技特性や競技動作をバイオメカニクスかつ生理学的な視点から分析し、得られた結果から最適な動作モデルやコンディショニング法を構築することによって科学的データをスポーツ現場でのコーチングに還元することを旨としたカリキュラムを準備しています。</p> <p>また、コーチとしての実践力も身に付けるための科目として、コーチング学演習とコーチング現場を想定したプラクティカムが履修出来ます。以下に個人競技のアスリートとしてハイパフォーマンスの獲得を目指す傍ら、科学的データをコーチング現場に還元することを目的として、バイオメカニクスの手法を用いて研究を行う院生の履修モデルを示します。</p> <p>1年次前学期には様々なスポーツ動作におけるバイオメカニクスの基礎と応用に関して理解を深めるとともに、ハイパフォーマンス獲得のためのアスリートの体力学やスポーツにおける戦術の立て方を学びます。</p> <p>1年次後学期には個人スポーツ(記録系競技や採点系競技)におけるコーチングとそれぞれの競技におけるパフォーマンスの分析法について理解を深めます。</p> <p>また、2年間を通じたコーチング学演習と1年次におけるプラクティカムによってコーチングの実践力も身に付けるとともに、2年次前学期には英語でのコミュニケーション法について学びます。</p> <p>このような履修モデルにおいてコーチング科学の専門的知識と高度な指導力を身に付けるとともに、修士論文を執筆して修士(コーチング科学)の取得を目指します。</p>									
修了後の進路	後期課程への進学/スポーツコーチ/アナリスト/スポーツ競技団体職員/スポーツ関連機関職員/スポーツ関係企業人/青年海外協力隊職員/中学校・高等学校教諭(保健体育)/一般企業人/ジャーナリストなど									
科目区分	年次・学期		1年次				2年次			
			前学期		後学期		前学期		後学期	
大学院共通科目(必修)	身体総合学術論	2								
研究群共通科目(必修)	研究報告演習Ⅰ	2			研究報告演習Ⅱ	2				
基礎科目(選択)	コーチング学原論	2	コーチング学特論Ⅱ(ハイパフォーマンススポーツ)	2						
	コーチング学特論Ⅰ(基礎)	2	コーチング学特論演習Ⅱ	2						
	コーチング学特論演習Ⅰ	2								
	コーチング学研究法Ⅰ(自然科学分野)	2								
	コーチング学研究法Ⅱ(人文・社会科学分野)	2								
他学位プログラム・コース科目										
専門科目(選択)			スポーツ危機管理	2	パフォーマンス分析特論演習	2				
			個人型スポーツコーチング論	2						
			対人型スポーツコーチング論	2						
			チーム型スポーツコーチング論	2						
			パフォーマンス分析特論	2						
研究指導科目(必修)	コーチング科学研究Ⅰ	1	コーチング科学研究Ⅱ	1	コーチング科学研究Ⅲ	2	コーチング科学研究Ⅳ	2		
履修方法	<p>次の履修方法により、30単位以上を修得すること。</p> <p>(1)大学院共通科目:2単位</p> <p>(2)共通科目:4単位</p> <p>(3)基礎科目:コーチング科学学位プログラムの科目を12単位</p> <p>※「コーチング学原論」、「コーチング学特論Ⅰ(基礎)」、「コーチング学特論演習Ⅰ」、「コーチング学特論演習Ⅱ」は必修</p> <p>※「コーチング学研究法Ⅰ」または「コーチング学研究法Ⅱ」のいずれかを必ず選択する</p> <p>※各学位プログラムが履修を認める科目は、単位数に含めることができる</p> <p>(4)専門科目 コーチング科学学位プログラムの科目を6単位</p> <p>(5)研究指導科目:コーチング科学研究Ⅰ～Ⅳの6単位</p> <p>※研究指導教員が担当する科目を選択する。</p>									
修了要件	2年以上在学し、学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。									
その他の学修・研究	学会発表			中間発表会 学会発表			修士論文作成 修士論文審査 最終試験 最終発表会			